

これからも安心を守ります

北上消防署大堤分署開署式

北上消防署大堤分署開署式は1日、同署で行われました。北上地区消防組合は、近年の消防需要の増加を受け、北上消防署大堤出張所の当直勤務職員を3人から6人に増員。これにより同所は、消防車と救急車を同時に運用できる分署体制となり、名称も北上消防署大堤分署に変更されました。式では、鈴木和夫消防長が職員に辞令を交付。また、及川義明副市長が「新体制となり、業務の効率化につながる。今後も安全確保に努めてほしい」と訓示しました。

辞令を受ける高橋智志分署長。新体制での一步を踏み出しました



作り方を教わりながら、親子で馬を作る参加者

昔の行事を体験

年中行事再現「馬っこつなぎ」

年中行事再現「馬っこつなぎ」は11日、みちのく民俗村で行われました。馬っこつなぎとは、稲わらや麦わらで2頭の馬を作り、田んぼの水口などに奉納する習わしのこと。馬は田植えを見守った神様が山に帰る乗り物とされています。博物館は、昭和40年ころまで立花地区などで行われていた馬っこつなぎを再現する同イベントを、毎年開催しています。家族で参加した鈴木清音ちゃん(5歳・いわさき認定こども園)は「初めて作ったけど楽しかった」と話していました。

世界チャンピオンを祝福

八重樫東選手祝勝会

ボクシング世界3階級制覇を成し遂げた八重樫東選手の祝勝会は1日、市内ホテルで行われました。市出身の世界チャンピオンを祝おうと、約200人が出席。八重樫選手が入場すると、会場は大きな拍手に包まれました。祝福を受けた八重樫選手は「勝ったときも負けたときも変わらずに応援してくれたことがありがたかった。今後も応援よろしくお願ひします」とあいさつ。その後は、出席者一人一人と写真撮影をするなど、交流を深めました。

同じジムに所属する井上尚弥選手(右)、拓真選手(左)と談笑する八重樫選手(中央)



「五輪音頭」を披露する虹色の会。息の合った踊りで来場者を楽しませました

地区の歴史に思いをはせる

第34回岩崎城^{えのぼり}絵幟まつり

第34回岩崎城絵幟まつりは5月29日、岩崎城址で行われました。同まつりは、絵幟を立てて和賀氏を供養することを目的に毎年開催されています。及川一実行委員長が「改めて地域の歴史を考えてほしい」とあいさつ。岩崎鬼剣舞による鬼剣舞奉納のほか、虹色の会といわさき小学校児童による合唱、北上杖道会有志による演舞などが行われました。来場した地区住民など約100人は、各団体の演技を楽しみながら、同地区の歴史に思いをはせていました。

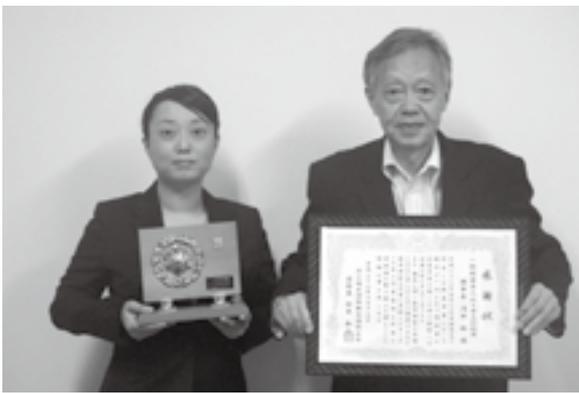
的確な判断で人命救助

消防業務一般協力者表彰

北上地区消防組合は13日、迅速で的確な判断で人命を救助した(一財)北上市文化創造(浅田格理事長)に対し、消防業務一般協力者として感謝状を送りました。

5月7日午後5時39分ごろ、さくらホール内で男性が急病により心肺停止となる事故が発生。同ホールの職員は、心臓マッサージやAEDを用いた心肺蘇生を協力して実施し、救急隊に引き継ぎました。その後市内の病院に搬送された男性は、無事に回復し、一命を取りとめました。

代表で表彰状を受け取った浅田理事長(右)と同ホール職員の野坂ゆきえさん(左)



景観資産に認定されている白山神社の説明を聞く参加者

景観を歩いて楽しむ

景観さんぽin黒岩

景観さんぽin黒岩は5日、黒岩地区で行われました。きたかみ景観資産をウォーキングで巡る同イベントに約20人が参加。約4kmのコースを歩きながら、「親水公園お滝さん」「千曳城跡」などを巡りました。道中では、いわてNPO-NETサポートのスタッフや地区住民が各景観資産を解説。参加者は説明に耳を傾け、改めて魅力を感じていました。同地区出身の後藤美代子さん(鳩岡崎)は「説明を受けながら見たのは初めて。参加してよかった」と話していました。

芸術拠点の節目を祝う

利根山光人記念美術館開館20周年記念式典

利根山光人記念美術館開館20周年記念式典は18日、同美術館で行われました。平成8年に開館した同美術館は、画家として活躍した故利根山光人さんの作品を数多く展示しています。式では利根山さんのインタビューを記録した映像が上映されたほか、作品の寄贈などで市の芸術文化発展に寄与した妻の彌恵子さんに感謝状を贈呈。感謝状を受け取った彌恵子さんは「北上は第二のふるさと。これからも主人の作品をよろしくお願いします」とあいさつしました。

高橋市長から記念品を受け取る彌恵子さん(左)



子どもの部で発表する参加者。一人一人が笑顔で踊りました

笑顔で踊って国体参加

希望郷いわて国体エアロビック

希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツエアロビックは5日、北上総合体育館で行われました。同競技は、国体開催を契機にスポーツの普及と振興を図るデモンストレーションスポーツの一つとして開催。当日は、県内から子ども部に14チーム、大人の部に15チームが参加し、各チームによる発表のほか、初心者から愛好者向けの体験会などが行われました。子ども部に参加した山崎嘉暖くん(大槌学園3年)は「うまくできて良かった」と話していました。